

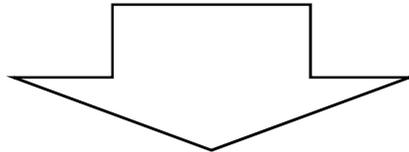
## 審議会事前意見について

今回事前意見・ご質問をいただいた内容について、事務局としての考えを示させていただきます。

### 意見

#### ■【資料 5】表「課題」に対する「施策の方向性」について

【資料 3】で地域住民からの声であるごみステーションに関する要望や、情報公開・提供、指導強化に関する解決すべき課題が顕在化しています。「関市自治基本条例」に準拠した地域住民の生活に密接な関係がある「地域おこし協力隊」との協働に関する施策やなんでも行政に依存する住民の思考や体質改善、自治に向けての意識改革などの方向性がないのが残念です。（例：防災での行動指針は自助＞共助＞公助であり、国の基本指針でも平成 30 年 12 月の中央防災会議の防災対策実行会議では自助を全面に打ち出している）



「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」によると、廃棄物処理は「生活環境を清潔」にして「公衆衛生の向上」を図ることを目的としています。

更に「循環型社会形成推進基本法」において廃棄物のうち有用なものを「再使用・再利用」などすることで、循環型社会を作り、現在及び将来の国民の健康で文化的な生活を確保することを目指しています。

頂いたご意見は、これから人口が大きく減少していく関市において、今までのように「関市」だけがごみ処理を担うものではなく、市民や地域、事業者などが「協働」で行うために市民意識の改革が必要であると捉えさせていただきました。

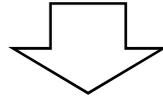
事務局として、この考え方に異論はございません。

燃やせるごみの処理など「公衆衛生を確保する」ために「関市」が行わなければならないごみ処理の範囲と、古紙類の資源化など「循環型社会」のために民間事業者との協働を進める範囲を明確にしながら、積極的に市民個人や自治会の活動が行えるような計画にしたいと考えております。

どのようにしたら市民や自治会などと協働で循環型社会を作っていくことができるのか、審議会のご意見をいただきたいと考えております。

### 質問 1

・ペットボトル・ビン・缶などの資源ごみは、民間で回収したほうが関市の財政負担はすくなくなるのですか？



以下に過去 3 年分の資源ごみ売却料と資源ごみ収集委託料の経費を計上します。

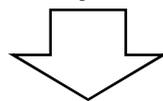
年度	中農広域資源ごみ (PET・ビン・缶・トレイ) 売却料 (関市分)	資源ごみ 収集委託料※	差し引き
H29	18,961,561 円	86,205,600 円	- 67,244,039 円
H30	15,628,661 円	87,458,400 円	- 71,824,739 円
R1	15,632,205 円	88,268,200 円	- 72,635,995 円

(※武芸川地区の資源ごみ収集委託は塵芥処理費で計上しているため除外しています。)

資源ゴミの売却料は、資源ごみの収集委託料と比べるとそこまで大きなものではありません。市の財政負担の部分だけで考えるのであれば、資源ごみ収集をしなければ財政負担はなくなります。しかし、資源ごみ回収をなくした場合、燃えるごみ・燃えないごみの排出量が増えてしまうのも事実です。

### 質問 2

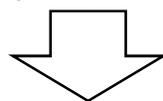
「質問 4, 5」で方向性として「資源を分別しやすい環境整備」が挙げられていますが、その前に、なぜ分別が必要なのか、分別してどのように資源化されるかなどの情報が不足しているように思います。今までに何か市 HP、広報・チラシ、自治会組織などを通しての啓蒙活動の内容があれば教えてください。例えば、ビンの分別・色別の理由、トレイの中で白色トレイだけ回収する理由など・・・。



クリーンプラザ中濃の HP には、分別や資源化の情報は掲載されています。市として「ごみの分別の仕方」は広報していますが、分別理由や資源化のされ方等は周知しておりません。そこがアンケート結果の情報提供が 3.7 点というところにつながると思います。情報提供の具体的な施策として、ビンの分別種別の理由や白色トレイだけ回収する理由等の情報提供を考えさせていただきます。

### 質問 3

段ボール、雑紙などの紙資源の回収を廃止したのはなぜですか



古紙相場の大幅下落の影響で以前は収集した古紙類が売り上げ収益として成り立っていたものが、業者に委託費を支払わないと収集出来なくなったことや、市の資源回収量の減少などが古紙類の回収を止めた理由でございます。